

ウォールゼット ノエル2

wallzet
NOEL2

SYSTEM CLOSET PARTS

取扱説明書

必ずお読みください



南海プライウッド株式会社

本社：〒760-0067 香川県高松市松福町1丁目15番10号

北海道東北営業グループ / TEL (087)825-3632 FAX (087)825-3695
 関東営業グループ / TEL (087)825-3621 FAX (087)825-3645
 甲信北陸営業グループ / TEL (087)825-3627 FAX (087)825-3645
 中部東海営業グループ / TEL (087)825-3622 FAX (087)825-3646
 近畿営業グループ / TEL (087)825-3623 FAX (087)825-3647
 中四国営業グループ / TEL (087)825-3624 FAX (087)825-3648
 九州営業グループ / TEL (087)825-3625 FAX (087)825-3649
 特需営業グループ / TEL (087)825-3662 FAX (087)825-3669
 テクノ営業グループ / TEL (087)825-3657 FAX (087)825-3659

お施主さまへ

⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取扱を行いますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書に従わず取扱を行った場合については、当社での保証はし兼ねますのでご注意ください。

製品のお取り扱いについて



乗らないでください。

安全のため商品には乗らないでください。怪我・死亡のおそれがあります。



水に注意してください。

本製品に直接水をかけないようにしてください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



テープ等は使用しないでください。

粘着テープ（養生テープ・セロテープ・シール等）は貼らないようにしてください。表面化粧のはがれおそれがあります。



重量物を吊さないでください。

パイプを取付け重量物を吊す場合はしっかりと固定されているかどうか確認してから吊してください。怪我のおそれがあります。

詳しくは「荷重の目安」をご覧ください。



重量物を置かないでください。

棚板に過度の重量物を置くと、たわみ、変形が起こり、場合によっては怪我のおそれがあります。

詳しくは「荷重の目安」をご覧ください。

製品のお手入れについて

日常のお手入れについて。



日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた物を布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させてください。

換気をしてください。



収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行ってください。

油やインクに注意してください。



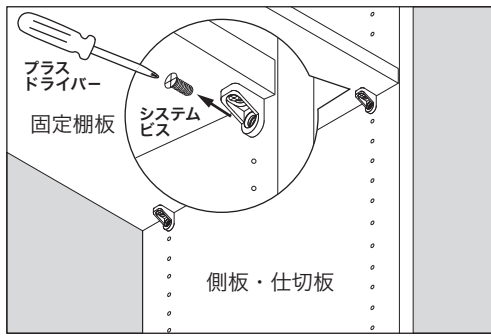
水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

荷重の目安

アイテム名	間口	荷重範囲
固定棚板・可動棚板	780mm以内	30kg以内
天板	1300mm以内	30kg以内 (間口1300mm以上の場合…仕切板またはショート側板をご使用ください。)
ハンガーパイプ	1000mm以内	50kg以内 (間口1000mm以上の場合…中吊金具または仕切板をご使用ください。)
スライドハンガー	—	50kg以内
引出し類	420・600・780mm	30kg以内

※上記は耐荷重の目安値であり、品質保証値ではありません。(社内データ)

固定棚板の移動・取付けについて



① 現在取付けている棚板の下部のシステムビスをプラスドライバーで左に回し、棚板を取りはずします。

⚠ 注意 棚板の落下にご注意ください。

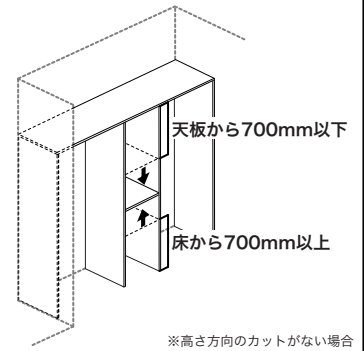
② 取付けようとしている位置のダボ穴にシステムビスで棚板を取付けます。

⚠ 注意 取付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

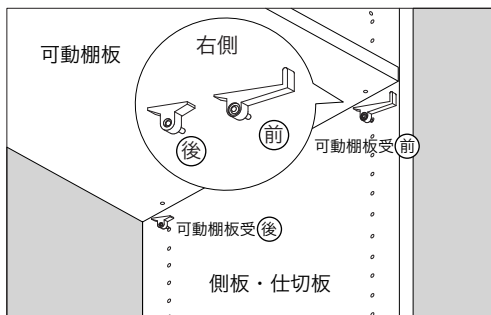
D295/D445・・・前後2箇所×左右
D595・・・前後中央3箇所×左右

固定棚板は必ず中央部（以下の指定位置以内）に取付けてください。

お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。



可動棚板の移動・取付けについて



① 棚板ははずします。

② 棚板を取付けたい位置に棚受金具のピンをダボ穴に差し込み、棚板を乗せます。

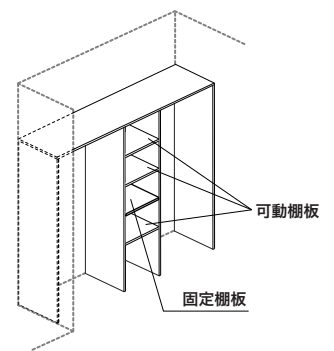
⚠ 注意 取付けるダボ穴の位置が同じ高さになるようにご確認ください。

D295/D445・・・前後2箇所×左右
D595・・・前後中央3箇所×左右

※可動棚板受(前)は形状が左右異なりますのでご注意ください。

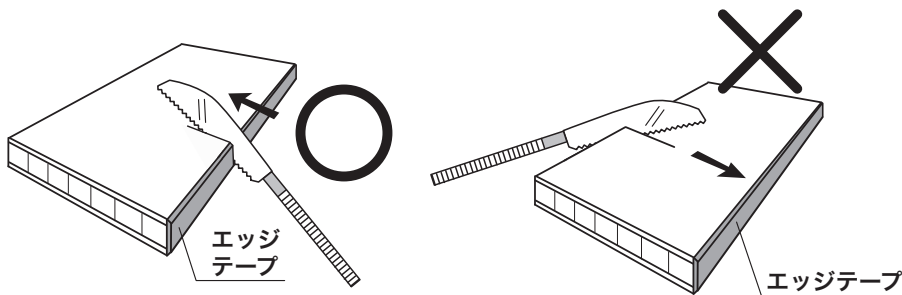
可動棚板のみの施工は、お避けください。（中央部の一枚は必ず固定棚板をご使用ください。）

お守りいただけない場合、収納全体の寸法精度及び強度が保てない可能性があります。



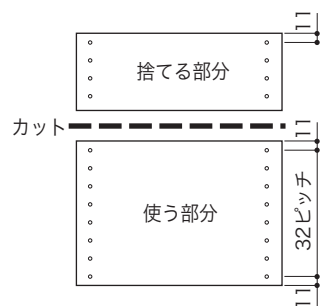
棚板・天板・側板・仕切板のカットを行う場合

重要 必ずエッジテープ側からカットしてください。



各部材はフリーカットが可能となっております。カットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。反対側からカットすると、エッジテープが剥がれるおそれがあります。側板・仕切板の場合は、カット位置にもご注意ください。

側板・仕切板の高さカット位置



側板・仕切板をカットする場合端穴の中心から11mmの位置でカットするとダボ穴をそのままご使用いただけます。